



令和7年10月14日 No21

沼田市立沼田西中学校

〒378-0031 沼田市薄根町3580

TEL0278(22)3055 FAX0278(22)9858



発行:平形 隆正

沼田西中HP

学校教育目標

○向学…自ら学ぶ生徒 ○礼節…思いやりのある生徒 ○進取…挑戦する生徒

重点目標

主体性と学び愛・支え愛の創造 ~大きな声であいさつ・返事!笑顔あふれる西中にしよう~

【第1回学校評価アンケート ご協力いただきありがとうございました】

第1回学校評価アンケートについて、全職員による分析・考察を行い、沼田西中のこれまでの取組の成果と課題を明らかにするとともに今後の改善策について協議を行いました。以下にアンケートの結果とその改善策について紹介させていただきます。



評価対象	評価項目	具体的数値項目	第1回 点検・評価	
			自己評価	改善策
Ⅰ 保護者と共通理解を図りながら教育を進めています	1 生徒の活動の様子を保護者へ連絡し、理解を得ていますか。	①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」とと保護者の80%以上が答えている。	A 保 93.5 教 93.4	・学校、学年だより等の発信 ・Home & School での教育活動への協力依頼や学校行事の案内 ・授業参観等の案内の工夫 ・PTA 総会、学年懇談会、三者相談の充実
	2 保護者は学校の行事（授業参観、合唱コンクール、マラソン大会等）に参加していますか。	②学校行事やPTA諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。	A 保 91.9 教 100	・運動会等の改善・充実 ・授業参観・合唱コンクール等への参加要請 ・PTA主催の諸活動への参加呼びかけ ・運動会等の学校行事への参加呼びかけ
Ⅱ 生徒に確かな学力を身に付けていますか。	3 授業中、生徒一人一人に基礎的・基本的な知識技能の習得と活用ができるように指導法の工夫を行っていますか。	③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。	A 国 93.5 社 80.4 数 76.6 理 92.6 英 77.5 音 95.2 美 88.8 体 97.2 技 96.2	・授業の導入で既習事項を振り返る時間を設け、既習事項の定着を図ったり既習事項を使って考えたりできるようにする。 ・定期テストやスプリングコンテストの前には朝行事の時間を活用して朝学習を行う。 ・ICTを活用して基礎的な学習内容の定着を図り、ドリルパークを使った朝学習の時間を設定する。
		④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。	A 生 90.6 教 100	・各教科における基礎的・基本的な内容を身に付けさせるための指導の工夫 ・生徒が自己表現できる活動の設定や工夫 ・一人一人の良さを生かした指導の工夫 ・教師間での授業の相互参観 ・休み時間における質問時間の確保
	4 自主的な学習習慣が生徒に身に付いていますか。	⑤生徒の80%以上が毎日家庭学習を行っている。	A 生 82.2 保 70.9 教 100	・学年の実態に応じて課題提出を徹底させる。 ・課題提出ができていない生徒を学年通信等で紹介することで、努力している生徒を称賛する機会を設ける。
		⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。	A 生 86.9 教 93.3	・師弟同行による読書をする雰囲気作り ・読書環境の整備 ・良書の選定指導
Ⅲ 生徒に豊かな心をはぐくんでいますか。	5 いじめのない温かい人間関係を育てていますか。	⑦「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以上が答えている。	A 生 97.2 保 93.5 教 86.7	・継続して生活記録や生活調査などを活用し、生徒の日常観察を充実していく。気になる点がある場合には、迅速に学年を軸に対応し、全職員に情報共有していく。また、生活調査の内容を生徒指導委員会を中心に検討していく、生徒の悩みや相談を引き出しやすいものにアップデートしていく。
		⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。	B 生 77.6 保 71.0 教 100	・生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじめ防止活動を推進していく。
		⑨「この学校、学級でよかったと思う」と保護者・生徒の80%以上が答えている。	A 生 94.4 保 83.9	・各クラスのいじめ防止スローガンについて学級活動や道徳などの折にふれ、生徒への意識付けを行っていく。
		⑩「いじめはしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。	A 生 97.2 保 100 教 100	・現在の方策を継続する。
	6 生徒は時と場に応じた適切な言動をとっていますか。	⑪生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。	A 生 96.3 保 95.2 教 100	・生徒会・PTA活動のあいさつ運動の実施 ・「望ましい服装」「中学生らしい節度ある行動を」の確認と指導の徹底 ・教職員間の共通理解と同一歩調の指導体制の確立
		⑫部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると生徒や保護者の80%が答えている。	A 生 93.5 保 90.3 教 100	・ルールや規則を守る態度、克己心、忍耐力、礼儀等の育成 ・チームワークを尊重する態度の育成 ・不適応生徒への関係職員の連携した指導 ・部活内での自己有用感や達成感の獲得
	8 生徒は福祉や奉仕の心をもって行動していますか	⑬生徒の80%以上が家で手伝いをしている。	B 生 76.6 保 66.2	・道徳の授業を軸に、奉仕や家族愛について学習する際に、家庭の中で自分ができることや自分の役割について考え実践する意欲をもてるよう支援していく。

		⑭生徒の８０％以上が、ボランティア活動や福祉活動等に積極的に参加したり、学校生活の中で困っている人を助けたりして、人の役に立っていると感じている。	A 生 95.3 教 93.4	・生徒会主催のボランティア活動や福祉活動の工夫・改善 ・道徳の授業等による関心・意欲の向上 (家族愛・社会参画・公共の精神・勤労) ・生徒会（本部・委員会）によるボランティア活動の実施
		⑮生徒の８０％以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。	A 生 97.2 教 93.4	・生徒の自主的な活動を促す指導の工夫、師弟同行の推進
Ⅳ 生徒の健康づくりに努めていますか。	9 生徒は基本的な生活習慣を身に付け、健康の保持増進に努めていますか。	⑯生徒の９０％以上が朝食をとっている。	A 生 95.3 保 100 教 86.7	・家庭と連携した個別指導の推進 ・学級指導・家庭科・給食委員会活動を通した意識の高揚
		⑰生徒の８０％以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。	A 生 90.7 教 93.4	・教科保健体育の計画的推進 ・部活動や体育的行事等への参加意識の高揚
		⑱生徒の８０％以上がメディアセーフウィークで自分の目標を達成している。	A 生 82.2 保 91.9 教 100	・保健委員会活動を中心とした啓発 ・学級指導での意識の高揚 ・家庭と連携した個別指導の推進
		⑲生徒の８０％以上が６～９時間の睡眠時間をとっている。	A 生 87.0 保 95.2 教 100	・保健体育や学級指導を中心に睡眠の大切さや意識の高揚の支援 ・保健委員会活動を中心とした啓発 ・家庭と連携した個別指導の推進
Ⅴ 生徒の安全確保を図っていますか。	10 施設・設備の安全管理や危機管理を徹底していますか。	⑳学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保護者や生徒の８０％以上が答えている。	A 生 94.4 保 98.3 教 100	・日常の安全点検の徹底 ・地震・火災想定等の避難訓練の実施 ・危機管理マニュアルの実効化
	11 交通事故や不審者への対策を十分にしていますか。	㉑学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めていると、保護者や生徒の８０％以上が答えている。	A 生 91.6 保 95.1 教 100	・学級活動や集会等での交通安全指導、危険箇所の確認（安全マップの作成） ・関係機関との連携、不審者情報の共有及び生徒へ周知、未然防止の指導の徹底
Ⅵ 生徒が自ら進路選択できるように支援していますか。	12 進路についての学習や指導体制を改善・充実させていますか。	㉒学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験学習等を通して、生徒の８０％以上が自己の生き方について考えている。	A 生 91.6 教 93.3	・学年懇談会等の工夫・改善 ・二者面談、三者面談の工夫 ・適切な資料等の提供 ・３年進路学習・高校体験の改善・充実
	13 生徒は将来の夢や希望をもっていますか。	㉓将来の進路などについて生徒の８０％以上が、親子で話し合う機会をもっていると答えている。	B 生 79.4 保 96.8	・家庭で話し合う機会を作ってもらうための資料提供（学年通信など） ・１年職業講話学習紹介 ・２年職場体験学習の取組 ・進路実現へ向けての高校説明会、面談の工夫、活用
Ⅶ 組織運営の活性化を図っていますか。	14 職員会議は校長の経営方針の理解や情報交換の場として機能していますか。	㉔教職員の８０％以上が、職員会議が校長の経営方針の理解や情報交換の場として機能していると答えている。	A 教 100	・「さみどり３１６」による経営方針、取組重点の理解 ・個々の教職員のアイデアを活かす工夫
	15 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合える職場の人間関係を作っていますか。	㉕教職員の８０％以上が、教育活動における問題や悩み等について気軽に相談できるような人間関係ができていると答えている。	A 教 100	・人事評価システムの有効活用と実践 ・学年会、教科部会等でのきめ細かな情報交換の工夫 ・職員室の和やかな雰囲気作り
	16 学力向上や校内研修の取組は、教師の資質向上と授業改善に結び付いていますか。	㉖教職員の８０％以上が、学力向上や校内研修の取り組みは教師の資質向上と授業改善に結び付いていると答えている。	A 教 100	・学力向上全体構想図を基にした組織的な取り組み ・教職員の教材研究の充実と日々の授業改善 ・授業の工夫、授業研究会の充実
	17 各種文書・データ等は、分掌や担当ごとに適切に管理されていますか。	㉗教職員の８０％以上が、各種文書・データ等は、分掌や担当ごとに適切に管理されていると答えている。	A 教 100	・サーバＰＣ内のデータの適切な整理及び管理 ・データの保存規則の見直し
	18 生徒と向きあえる環境づくりに向け業務の見直し・改善をしていますか。	㉘教職員の８０％以上が、資料等文書データの共有化や、会議・打ち合わせ等の効率化、協働体制の意識化が進められていると答えている。	A 教 100	・校務分掌ごとの文書データや記録等の共有化 ・会議や打ち合わせなどの簡略化
	19 (保)学校・地域と協力して子供を育てていますか。(職)保護者や地域と連携して子供を育てていますか。	㉙保護者の８０％以上が、学校・地域と協力して子供を育てていると答えている。教職員の８０％以上が、保護者や地域と連携して子供を育てていると答えている。	A 教 93.3	・PTA、学校運営協議会を核とした地域学校協働活動の拡充 ・地域学校協働活動推進のリーダー、レギュラーの育成強化
	20 服務に関する研修は、規律確保行動計画の実現に役立っていますか。	㉚教職員の８０％以上が、服務に関する研修は、規律確保行動計画の実現に役立っていると答えている。	A 教 100	・教職員の輪番によるボトムアップの服務研修の充実
	21 小学校・中学校との連携が図れていますか。	㉛教職員の８０％以上が、小中連携の必要性を知り、具体的な取組が学校課題解決のために有効であると答えている	A 教 80.0	・定期的な小中情報交換会を分掌（生徒指導、教務など）ごとに実施する。

上記表の中の自己評価欄の朱書き数字の項目を課題ととらえました。朱書き改善策について実践し課題解決に努めて参ります。家庭学習やお手伝い、将来の進路についてなど、課題解決に向けて学校だけでなく各家庭の皆様のご協力が不可欠なところもあります。今回の結果を参考にお子さんへの声かけやご指導をいただけますようお願いいたします。

第2回の学校評価アンケートは12月に予定しております。主体性と学び愛・支え愛、笑顔の西中の実現に向けて、全校生徒・職員で取り組んで参りますので、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。